

## 海外安全対策情報 2020年第4四半期（10～12月）

在ブルガリア日本国大使館

### 1 社会・治安情勢及び一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

#### (1) 社会情勢

7月以降、ソフィア市を中心に全国的にボリスフ首相及びゲシェフ検事総長の辞任を求める大規模な反政府デモが継続していましたが、11月に入り、新型コロナウイルスの感染拡大深刻化を受け、主要なデモ主催団体がデモを取り止めました。以降、散発的に小規模なデモが発生しましたが、治安への大きな影響は見られませんでした。

#### (2) 治安情勢

ブルガリアの犯罪発生件数は近年減少傾向にあり、2019年の犯罪総数は2010年の約6割にまで減少しました。しかし、その一方で、日本と比較すると依然として犯罪発生率は高く、人口10万人当たりの発生件数では、犯罪総数は日本の約2倍、殺人は約4倍、強盗は約1.4倍となっています。

2020年に入っても犯罪の減少傾向は続いており、上半期（1～6月）の犯罪認知件数は前年同期比マイナス7.8%でした。

#### (3) 邦人被害犯罪の発生状況

この期間における邦人被害の犯罪は認知していません。

### 2 テロ・爆弾事件発生状況

発生していません。

### 3 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人が被害に遭った事件は認知していません。

### 4 日本企業の安全に関する諸問題

対日感情は基本的に良好で、特段の問題点は報告されていません。